

夏山を楽しむために転倒、道迷い、体調管理に要注意

平成29年7月

山岳遭難対策中央協議会

登山計画書の作成と提出は 山頂への第一歩目です

例年、登山者が増加する夏山シーズンには遭難事故も増加します。とりわけ、遭難者に占める中高年登山者の割合は7～8割と高く、転・滑落、道迷い、転倒などの事故が多発しています。

転倒事故では、「つまづき」や「スリップ」といった些細なミスが原因となって、骨折等の重傷を負うケースが目立っています。山の中で大きな怪我をしてしまうと、自力での下山は難しくなります。最後まで笑顔で登山を続けるために、一步一步慎重に歩きましょう。

また、夏山の天気は午後から崩れやすい傾向にあるので、「早発ち、早着き」が基本です。夕立が降る前に目的地に着いて、ゆっくり体を休めながら翌日のルートを再確認しましょう。余裕のある行動は、夏山の楽しさと安全性を倍増させます。

皆さんの夏山登山が良い思い出になるように、次のことに留意してください。

○ 入念な登山計画を立てましょう

登山は計画する段階から始まっています。対象山域の最新情報（山岳情報、気象情報、火山情報等）を入手し、入山中に考えられるリスク回避の対策を前もって立てるようにしましょう。

○ 次の一步に集中しましょう

登山では、たった一步の踏み間違いで大怪我をすることがあります。慎重に歩いて、自分の足で帰りましょう。

○ 道に迷わないように用具を活用しましょう

地形図やガイドブックで登山コースを勉強しましょう。コンパスやGPS等の用具も積極的に活用して道迷いを防いでください。

○ 水分をたくさんとりましょう

リュックを軽くするために飲み物を減らすのは絶対にやめてください。水分不足は熱中症や高山病のリスクを高めます。水分補給の目安は、次の式を参考にしてください。

$$\text{必要な水分量(ml)} = \text{体重(kg)} \times \text{行動時間(時間)} \times 5$$

○ 常備薬を持ちましょう

登山は体に大きな負担がかかります。体力の消耗だけでなく、標高の高さによる低酸素や流した汗による脱水、テントや山小屋生活でのストレスなど、目に見えない負荷がかかっています。常用している薬がある方は必ず持参してください。

○ ヘルメットを着用しましょう

転・滑落や落石の危険がある場所ではヘルメットを着用しましょう。毎年、「ヘルメットさえかぶっていれば・・・」という悲しい遭難事故が起こっています。

【山岳遭難対策中央協議会構成省庁・団体】（太字は「幹事会」構成省庁・団体）

内閣官房 警察庁 環境省 気象庁 消防庁 林野庁 総務省 防衛省 **スポーツ庁**
(独)日本スポーツ振興センター (株)NTT (株)JR東日本 (公財)日本体育協会
(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会 群馬県 山梨県 静岡県 富山県 長野県

夏山装備チェックリスト

登山目的にあった装備を持参しよう。

(○は必ず持参のもの。△は状況によって持参のもの。)

品名	品名	品名
○ズボン	○予備電池・電球	○燃料・予備燃料
○シャツ	○ローソク	○コッフェル・炊事用具
○防寒衣（フリース・セーター）	○ライター・マッチ	○ラジオ
○雨具上下	○時計	○天気図用紙
○帽子	○高度計	○トランシーバー（予備電池）
○靴下（ソックス）・予備靴下	○コンパス	△ザイル（ロープ）
○手袋（グローブ）・予備手袋	○1/25000地形図	○カラビナ
○登山靴	○ルート図	○スリング各種
○スパッツ	○登山計画書	△伸縮式ストック
○シュラフ（スリーピングバッグ）	○筆記具	△ハーネス
○シュラフカバー	○身分証明書	△サブザック
○マット	○緊急連絡票	△テント一式
○非常食	○携帯電話（予備電池）	△ランタン
○救急用品（各種薬等）	○健康保険証	△カメラ
○テーピングテープ	○ロールペーパー	△サングラス
○レスキューシート	○タオル・手拭	△油性太字ペン
○テルモス・水筒	○ポリ袋	△各種登攀用具
○食器類	○装備整理袋	△GPS
○ナイフ	○ツェルト	△携帯トイレ
○ホイッスル	○コンロ	△ヘルメット
○ヘッドランプ		

※この装備リストは夏山の標準的な装備です。対象とする山の難易度、登山方法により必要な装備は変わりますので、事前にパーティーで装備の要否や追加装備の有無をよく検討してください。

気軽なつもりでも「登山」 安全対策と山への感謝は忘れずに

※研修会、講習会等の問合せ先

(独)日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 TEL : 076-482-1211
<http://www.jpnsport.go.jp/tozanken/>

(公社)日本山岳・スポーツライミング協会 TEL : 03-3481-2396
<http://www.jma-sangaku.or.jp/>

山岳遭難が多発しています!!

大丈夫？あなたの登山計画

気象条件、体力、経験等に見合った山を選択し、余裕のある安全な登山計画を立てましょう。

- 1 登山計画書はパーティ全員でよく検討し、作成しましたか。
- 2 入山前、入山中の気象情報を確認していますか。（携帯電話、ラジオ等）
- 3 気温の変化に備え、防寒対策は十分ですか。
- 4 エスケープルート（万一の時の逃げ道）は考えていますか。
- 5 応急処置のための医薬品や器具は準備しましたか。
- 6 緊急時の連絡手段は準備しましたか。（無線機、携帯電話などの充電も忘れずに！）
- 7 山岳保険の加入は済みましたか。
- 8 条例等で入山が規制されている地域でないか確認しましたか。

登山計画書はあなたの生命を守るザイルです。

【登山計画書の提出】

- 安全登山のための自己点検の機会となります。
- 遭難事故の発生を早い段階で警察が認知でき、捜索救助活動が迅速かつ合理的に行われます。
- 捜索救助活動にかかる膨大な社会的及び個人的負担を軽減させることができます。
- 家族や関係者を安心させることができます。

【提出先】

- 知事等（登山計画書の提出が条例で義務化されている場合）
- 家庭、クラブ（山岳会）、職場、学校など
- インターネットの登山計画サイト(山と自然のネットワーク「コンパス」など)
- 山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど
- 山域を管轄する警察本部または警察署など
(インターネットを使って申請ができる警察本部等もあります。)

これまでも登山計画書を提出したことにより、命拾いをしたという事例が数多くあります。登山計画書を提出することは、あなたの生命を守るザイルであると考えて必ず実行しましょう。また、登山計画書の提出先には、下山の報告を忘れずにしてください。

登山前からの最新の気象状況把握が重要

～天気予報を踏まえた計画と、登山中の急激な気象変化に細心の注意を～

山の天気は、平地とは比較にならないほど急変します。特に天気予報で「大気の状態が不安定」等が予想される場合は、急な大雨、落雷、突風等が起こりやすい状況です。また、台風等により大雨となった場合には、土砂災害や河川の増水等の危険が生じます。**登山の数日前から、最新の気象情報で今後の天気の見通しや警報級の可能性について確認し、ゆとりある計画作りが必要**です。また、**登山中も常に最新の気象情報を利用し、気象の急変等に備えた適切な判断が何より重要**です。

気象情報の入手先

常に最新の気象情報を利用することが大切です。ラジオやテレビの他、インターネットや携帯端末を利用した情報の入手も可能です。

(公社)日本山岳・スポーツライミング協会のホームページに、以下の入手先等をまとめていますので、御利用ください。

<http://www.jma-sangaku.or.jp/tozan/plan/weatherforcast/>



□気象庁ホームページ (PCサイト)

気象庁ホームページでは、警報・注意報、天気予報の他、地上・高層天気図、気象衛星、アメダス、気象レーダー、ウィンドプロファイラ（上空の風）等の様々な気象情報を確認することができます。

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

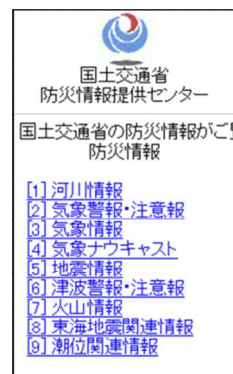
□国土交通省防災情報提供センターホームページ (PC・携帯)

国土交通省防災情報提供センターホームページでは、河川、道路、気象等の各種防災に関する情報を見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

また、その一部を携帯端末向けホームページで見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



防災情報提供センター
携帯端末向けホームページ (Top)

□民間気象会社等のサービス

民間気象会社等では、特定の山を対象に気象情報提供サービスを行っているところがあります。

(詳細は、各民間気象会社等にお尋ねください)

※火山情報にも注意

火山には、噴気や火山ガスが発生している危険な場所があります。登山する山が火山の場合は、火山にどのような危険があるのかを確認して、登山計画を立てましょう。

気象庁や地元自治体が発表している最新の情報を入手し、十分注意して登山してください。気象庁では、「噴火警報」や「火山の状況に関する解説情報」などを火山ごとに整理した「火山登山者向けの情報提供ページ」（下記URL）を公開していますので、登山前には、必ずご確認願います。

http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html

また、噴火の発生事実を迅速に発表する「噴火速報」はラジオやテレビ、携帯端末のアプリ等で知ることが出来ます。火山の噴火に気づいた時、噴火速報が発表された時は直ちに身の安全を図りましょう。

(噴火速報の説明：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/funkasokuho/funkasokuho_toha.html)



火山登山者向けの
情報提供ページ

夏期（7月～8月）における山岳遭難発生状況

【夏期における山岳遭難発生状況（平成24年～平成28年）】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
発生件数（件）	552	569	583	647	660
遭難者（人）	676	625	699	782	753
死者・行方不明者（人）	36	55	52	65	48

平成27年以降、発生件数が600件以上に！

“自分に限って”という油断は禁物、安全登山はあなたの心構えから！！

【平成28年夏期における態様別遭難者数】

道迷い	転倒	転落・滑落	病気	疲労	その他	不明
192	174	133	118	71	58	7
(25.5%)	(23.1%)	(17.7%)	(15.7%)	(9.4%)	(7.7%)	(0.9%)

※（ ）内は構成比

（参考）平成28年における態様別遭難者数

道迷い	転倒	転落・滑落	病気	疲労	その他	不明
1116	471	606	229	204	232	71
(38.1%)	(16.1%)	(20.7%)	(7.8%)	(7.0%)	(7.9%)	(2.4%)

※（ ）内は構成比

【平成28年夏期における年齢層別遭難者数】

20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳以上
68	55	68	99	111	197	130	24	1
(9.0%)	(7.3%)	(9.0%)	(13.1%)	(14.7%)	(26.2%)	(17.3%)	(3.2%)	(0.1%)

※（ ）内は構成比

主な山岳地の登山についての問い合わせ

山 岳	気 象 情 報	山 岳 情 報
主な山域の冬山情報	各地域の情報は地方気象台にお問い合わせ下さい。 http://www.jma.go.jp/jma/index.html	警察庁生活安全局地域課 (03)3581-0141 http://www.npa.go.jp/
北海道全山域		北海道警察本部地域企画課 (011)251-0110 ☆ http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/chiiki/sangaku/sangaku-top.html
利尻岳 大雪山系 十勝岳	稚内地方気象台 (0162)23-2678 旭川地方気象台 (0166)32-6368	北海道警察 旭川方面本所地域課 (0166)35-0110 ☆ http://www.asahikawahonbu.police.pref.hokkaido.lg.jp/kakuka/chiiki/anzentozan/anzentozan.html
八甲田山系	青森地方気象台 (017)741-7411	青森県警察本部地域課 (017)723-4211
八幡平	盛岡地方気象台 (019)622-7868 秋田地方気象台 (018)823-8291	岩手県警察本部地域課 (019)653-0110 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111
鳥海山系	山形地方気象台 (023)622-2262 秋田地方気象台 (018)823-8291	山形県警察本部地域課 (023)626-0110 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111
蔵王山系	仙台管区気象台 (022)297-8104 山形地方気象台 (023)622-2262	宮城県警察本部地域課 (022)221-7171 ☆ http://www.police.pref.miyagi.jp/ 山形県警察本部地域課 (023)626-0110
飯豊連峰	山形地方気象台 (023)622-2262 新潟地方気象台 (025)281-5871 福島地方気象台 (024)534-2162	山形県警察本部地域課 (023)626-0110 山形県小国警察署 (0238)62-0110 新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 ☆ http://www.police.pref.niigata.jp/ 福島県警察本部総合運用指令課 (024)522-2151 ☆ http://www.police.pref.fukushima.jp/
巻機山連峰	新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)231-2237	新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 ☆ http://www.police.pref.niigata.jp/
苗場山	長野地方気象台 (026)232-2034	
谷川岳	新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)231-2237	群馬県警察本部地域課 (027)243-0110 ☆ http://www.police.pref.gunma.jp/
草津白根山	長野地方気象台 (026)232-2034	
丹沢山系	横浜地方気象台 (045)621-1991	神奈川県警察本部地域総務課 (045)211-1212 ☆ http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm
南アルプス富士山	甲府地方気象台 (055)222-2347 静岡地方気象台 (054)286-3411 長野地方気象台 (026)232-2034	山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 ☆ http://www.pref.yamanashi.jp/police/ 静岡県警察本部地域課 (054)271-0110 ☆ http://www.pref.shizuoka.jp/police/kurashi/sangaku/
北アルプス中央アルプス南アルプス八ヶ岳	長野地方気象台 (026)232-2034 岐阜地方気象台 (058)271-4107	長野県警察本部山岳安全対策課 (026)235-3611(直通) ☆ http://www.pref.nagano.lg.jp/police/ 山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 ☆ http://www.pref.yamanashi.jp/police/
北アルプス	富山地方気象台 (076)432-2311 岐阜地方気象台 (058)271-4107	富山県警察本部地域課 (076)441-2211 ◎ http://police.pref.toyama.jp/ 岐阜県警察本部地域課 (058)271-2424 ☆ http://www.pref.gifu.lg.jp/police/
大峰山系 大台山系	奈良地方気象台 (0742)22-2555	奈良県警察本部地域課 (0742)23-0110 ◎ http://www.police.pref.nara.jp/
大山	鳥取地方気象台 (0857)29-1312	鳥取県警察本部地域課 (0857)23-0110 ☆ http://www.pref.tottori.lg.jp/policedaisen/
石鎚山系	松山地方気象台 (089)941-0012 高知地方気象台 (088)822-8881	愛媛県警察本部地域課 (089)934-0110 http://www.police.pref.ehime.jp/ 高知県警察本部地域課 (088)826-0110 ☆ http://www.police.pref.kochi.lg.jp/
脊振山系 多良山系	佐賀地方気象台 (0952)32-7025	佐賀県警察本部地域課 (0952)24-1111 ◎ http://www.police.pref.saga.jp/seian/anzen/matidukuri/_3538.html
屋久島	鹿児島地方気象台 (099)250-9913	鹿児島県屋久島警察署 (0997)46-2110 ◎ http://www.pref.kagoshima.jp/ja10/police/shinsei/sonota/oshirase_34.html



(概念図)

テント(型・人用・張)	
ツェルト(人用・張)	
ロープ(m・本)	
通信機器(台・MHZ)	
食料(日分)	(予備食含む)
非常食(日分)	
燃料(日分)	

(その他連絡事項)

提出先

家庭、クラブ(山岳会)、職場、学校など
山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど
登山地域の都道府県警察本部地域課(北海道を除き県庁所在地にあります)
または山域を管轄する警察署、交番、駐在所

注意

登山計画書を提出したところには、必ず下山の報告をすること
条例に基づく登山届出(提出義務があります)は所定の届出先に提出すること

※ 登山計画書の記入例については、(公社)日本山岳協会のホームページまで

<http://www.ima-sangaku.or.jp/>